

まちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介！

廃材が未来の枚方に変身

子どもたちが思い描く街をのびのびと表現



7月21日、御殿山生涯学習美術センターで、ひらかた万博パビリオン事業「みんなで創ろう！この街の未来」が開かれました。市

P R大使で切り絵作家・たけうちひろさんと一緒に、16人の子どもたちが未来の枚方をテーマにペットボトルや空き箱などで街づくりに挑戦し、喋る家などの想像力豊かな作品が完成。神谷英飛さん（4歳・写真左）は「僕の作った空飛ぶおうちを世界中の人に見てもらいたい」とニコリ。作品は大阪・関西万博で展示予定です。

憧れの部に教わる生き物採取

枚方高校生物飼育部が児童に直伝



8月1日、天野川で枚方高校生物飼育部の生き物採取に五常小学校の児童約30人と保護者が参加しました。同小学校の生き物の大切さ

を学ぶ取り組みの一環で、同部顧問や部員たちから流れが緩い草むらに網を入れて捕る「ガサガサ」などを教わり、ヌマエビやオイカワなど8種を採取。生き物が大好きで枚方高校に入りたいと話す坂本瑠海さん（9歳・写真）は「次は捕まえた魚を育てて食べたい」と笑顔でした。採取した生き物の一部は同小学校の水槽で飼育します。

ビールになるのが待ち遠しい

大阪ブルテオン選手が穂谷でホップ収穫



7月27日、市P R大使の男子バレーボールクラブ・大阪ブルテオンの選手が穂谷でホップを収穫しました。穂谷の農業持続のため活性化に取り組む民間のプロジェクトチーム有志が企画し「枚方のビールとスポーツをもっと知ってほしい」と連携が実現。参加した小宮雄一郎選手（写真）は収穫したホップを手「香りの強さに驚いた。ビールになるのが待ち遠しいです！」と話しました。ホップを使ったオリジナルクラフトビールは11月に完成予定です。

熱い声援 パリまで届け！

パリ五輪バレー男子PVで1500人の大応援



7月27日、総合文化芸術センターでパリ五輪バレーボール男子日本対ドイツ戦のパブリックビューイングが開催され、大阪ブルテオンの清水邦広選手と仲本賢優選手を解説に迎え約1500人が熱い声援を送りました。市出身の大塚達宣選手も途中出場し得点につながる活躍を見せ、一点を競り合う大接戦に会場はヒートアップ。試合はフルセットの末惜しくも敗れましたが、京都市の永繁沙樹さんは「選手の全力プレーや会場の一体感に感動しました！」と熱戦を振り返りました。

編集後記

いよいよステーションヒル枚方が本格稼働。仕事帰りや休日の選択肢が広がります。そうだととても楽しみです。取材で一足お

先にお邪魔した建物内で印象的だったのは高架上の電車と並んで歩ける通路。電車好きの息子を早く連れて行きたいです。



編集者 M

今号の「市民登場」と「枚方家族」はお休みします。